

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで児童が多い場合は、サーキットのスタート場所をを分けたり、交代制にするなどして、運動量が確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	加配加算を採用しているため、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っているが、完全にバリアフリーではないため、人的サポートで対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	生活空間は、毎日掃除・消毒をして清潔に保つよう努力をしている。また児童の活動の支障になるものは設置しないよう日々気を付けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行っている。また、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	昨年度の結果を踏まえて、運動や創作の予定や作品を貼り出している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPに公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後も今のところ予定はなく、必要に応じ検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	興味や必要に応じ外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、児童の様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	児童一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	必要に応じて再確認しながらクラスのプログラムを作成している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	年間計画にて1～2か月ごとに活動の柱を変えている。また児童の興味・発達・成長に合わせ、必要に応じて臨機応変に行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っている。児童の成長度合いに応じ、クラス変更の必要がある場合には児発管、指導員、保護者、子どもの意見を踏まえて行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、支援方法の確認や役割分担を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	支援終了後に必ず振り返りミーティングを行い、気づいた点や改善点を確認し、記録している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録も作成し、随時検証している。毎回ではないが、必要に応じて動画での振り返りも行っている。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的（4～6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	参画の要請があった場合には積極的に参画している。主に児発管が参加する。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	直接の連携は行っていないが、保護者からの要望に応じる形で、情報の共有など連携できる体制は整えている。	

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

	チェック項目	改善目標や工夫している点
関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、必要が生じた場合には連携できる体制を整えていく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要な児童が通所していないが、必要が生じた場合には主治医との連絡体制を整えていく。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者からの依頼に応じる形で、療育内容報告書を作成したり、電話での情報共有を行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者からの依頼に応じる形で、就学支援シートの提出など、情報共有を行っている。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村(川崎市等)が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも要望がないため、今後必要が生じれば検討していく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	川崎市協議会、多摩区協議会ともに、今年度は開催予定がない。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	プログラムとしては実施していないが、家庭での必要性に応じて、面談などの際に個別に伝えている。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している。支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	定期的（4～6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行い、ご説明した上で支援内容の同意を得ている。	

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

	チェック項目	改善目標や工夫している点	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	指導員や児発管が声掛けし、必要に応じて助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会はないが、療育前後にドア前で待機している際に、各自の必要に応じて保護者同士が自主的に関わりをもっている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	相談窓口を契約時に案内しているほか、対面・電話ともに随時相談の対応をしている。また内容により、日や場所を改めての相談支援なども実施している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していないが、月ごとの活動概要を入り口ドア前に掲示している。また年間計画を事務室内に掲示し、見学時に見られるようになっている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。また今年度からSNSでの伝達手段を増やしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	マニュアルがあることは契約時に説明している。今後必要に応じて閲覧などできるように検討していく。また不審者対応訓練を毎年8月に実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回（6月と11月）に実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に確認した上で、スタッフ間で情報の共有をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	当事業所では食物の提供をしていないが、年に数回市販の菓子を渡すことがあるため、契約時に保護者に確認し、渡す時にもアレルギー等配慮事項がある児童は保護者の確認のもと開封するよう指導している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

	チェック項目	改善目標や工夫している点
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	社内全教室共通のテキストや事例集などを用いて研修を行い、虐待防止の意識を高めている。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。 今現在、当事業所において拘束等は行われていない。

保護者からの児童発達支援におけるアンケート集計結果（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	0	0	<p>広く子どもがたくさん活動出来るようになっています。</p> <p>少人数制でしっかりみてくれているのびのびと運動ができていると思います。小学生だとどうなのかしらとも思っています。</p>	<p>運動の際にお子様わかりやすいようにラインをひいたり、順番を明確にするために教具で目印をするなどの環境設定に取り組み、スペースの確保・怪我の防止に努めております。小学生など人数の多いクラスでは、グループ分けや空間を有効利用した療育を行っております。</p>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2	0	2	<p>フォローいただける十分な配置をいただいています。</p> <p>配置数は十分ですが、専門性については見学の機会も少なかったためよく分かりません。</p>	<p>専門性については契約書類の重要事項説明書に資格が記載してある他、質問なども随時承っております。また、見学につきましては随時ご希望を受け付けておりますのでお尋ねください。</p>
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	0	0	0		
	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	1	0	1		

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	4	“家族支援”、“地域支援”の点が疑問です。	限られた時間の中での集中的な療育を特徴としておりますので地域との関わりがづくりにくい環境ではありますが、必要に応じて今後も検討してまいります。ご家族支援に関しては自治体・療育センターとも協力しながら対応させて頂いております。ご相談なども随時受け付けておりますので、お声かけください。
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	2		
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	0	毎月変えている。 バリエーション豊富だと思います。	運動・創作ともに、年間計画・月間計画を立て、お子様が楽しみながら成長できるプログラムを考えてまいります。ご要望・ご意見も随時受け付けております。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	8	保育園が訪問対応がNGの為、支援が難しい。 療育センター⇔幼稚園の連携をみると、まだまだこれから期待…と思っています。 コロナ禍で困難だったかもしれないが行ってほしい（今後に期待）	必要に応じて検討してまいります。ご相談ください。
9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	0			

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	16	0	0	0	当日の様子については丁寧にご説明いただけているのですが、専門的な見地から子供の特性や課題、対処方法案などの助言をいただくとありがたく思いました。	療育の内容や報告だけでなく、よりお子様の特性や課題に即したお話ができるように努めてまいります。面談や見学の際にもお気軽にご相談ください。
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	3	3	5	アドバイスなどいただいています。	子育ての相談・助言等については引き続き職員にご相談ください。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	0	0	1	よく話を聞き、通所時の話をよく聞かせてくれる 保護者からの発信が上手くされていないので、こちらの課題だと思えます。	引き続きお子様が楽しみながら成長できるプログラムを考えてまいります。ご要望・ご意見も随時受け付けております。
	13 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1	1	1		
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	6	5	コロナ禍により困難	保護者会の実施予定は現在ありませんが、ご希望の際は児童発達支援管理責任者にご相談ください。
15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	2	0	5	以前に相談したが、他の療育施設や普通の習い事でも待機場所や見学ができない所はないので検討してもらいたい。	待機場所については施設の構造上難しいのですが、見学につきましては随時希望日を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。	

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	0	0		
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1	0	4	子供の作成物展示はあったが、HP etc. は見ることがない	自己評価の結果は3月までにホームページの登戸教室の下部にPDFファイルで掲載いたします。イベント、創作の活動内容は引き続き掲示物や臨時のお知らせ等でお知らせしてまいります。
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15	0	0	1		
非常時等の対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	0	1	0		
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	0	0	0	訓練もだいぶ上手に参加できるようになりました。	今後も子どもたちが安全に楽しく通所できるように、訓練などをおこなっていきます。

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1	0	0	毎週楽しみにしています。 している。	今後も子どもたちが楽しく通所しながら成長できるように努めてまいります。
	22	事業所の支援に満足しているか	14	2	0	0	丁寧な対応に満足しています。 通所のおかげか、できることも増えてきている 大変満足しています。 いつもありがとうございます！！	スタッフ一同、適切な療育内容を提供できるよう、また自己を過信する事なく常により良いものを提供できるよう考えてまいります。

事業所における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで児童が多い場合は、サーキットのスタート場所をを分けたり、交代制にするなどして、運動量が確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っているが、完全にバリアフリーではないため、人的サポートで対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのP D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行っている。また、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	昨年度の結果を踏まえて、運動や創作の予定や作品を貼り出している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後も今のところ予定はなく、必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	興味や必要に応じ外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、児童の様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	年間計画にて1～2か月ごとに活動の柱を変えている。また児童の興味・発達・成長に合わせ、必要に応じて臨機応変に行っている。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、休日も通常開所しており、サービス提供は平日と特段変わりがないため、基本的には同じ内容で実施しているが、長期休暇には特別プログラムを実施している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っている。児童の成長度合いに応じ、クラス変更の必要がある場合には児発管、指導員、保護者、子どもの意見を踏まえて行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、支援方法の確認や役割分担を行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後に必ず振り返りミーティングを行い、気づいた点や改善点を確認し、記録している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録も作成し、随時検証している。毎回ではないが、必要に応じて動画での振り返りも行っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的（4～6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	児童一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参画の要請があった場合には積極的に参画している。主に児発管が参加する。	
21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わりに、保護者から間接的に学校情報をもらうことがあるので、今後、必要に応じて学校との連携を検討していきたい。	
22 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアが必要な児童が通所していないが、必要が生じた場合には主治医との連絡体制を整えていく。	

	チェック項目	改善目標、工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、保護者の依頼のもと、必要があれば情報共有をできる体制が整っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、必要が生じた場合には、資料を提供できる体制が整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	区市町村(川崎市等)が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも要望がないため、今後必要が生じれば検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	川崎市協議会、多摩区協議会ともに、今年度は開催予定がない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	プログラムとしては実施していないが、家庭での必要性に応じて、面談などの際に個別に伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している。支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	指導員や児発管が声掛けし、必要に応じて助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会はないが、療育前後にドア前で待機している際に、各自の必要に応じて保護者同士が自主的に関わりをもっている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	契約時に苦情の連絡方法を伝えている。また日々の関りの中で、苦情にまで至らない要望などを吸い上げ、職員間で共有・検討し、必要に応じて保護者に周知している。今後要望があれば、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口を設置することを検討していく。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報は発行していないが、月ごとの活動概要を入り口ドア前に掲示している。また年間計画を事務室内に掲示し、見学時に見られるようになっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。また今年度からSNSでの伝達手段を増やしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルがあることは契約時に説明している。今後必要に応じて閲覧などできるように検討していく。 また不審者対応訓練を毎年8月に実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回（6月と11月）に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	社内全教室共通のテキストや事例集などを用いて研修を行い、虐待防止の意識を高めている。
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	事業所内に拘束を行う方針はないが、児童の危険を伴う場合はやむを得ず身体拘束を行う旨を保護者に説明し、同意書を頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	当事業所では食物の提供をしていないが、年に数回市販の菓子を渡すことがあるため、契約時に保護者に確認し、渡す時にもアレルギー等配慮事項がある児童は保護者の確認のもと開封するよう指導している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、全職員共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。

保護者からの放課後等デイサービスにおけるアンケート集計結果（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI登戸

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1	0	0	見学ができないので配置数は分からない。	専門性については契約書類の重要事項説明書に資格が記載してある他、質問なども随時承っております。また、見学につきましては随時ご希望を受け付けておりますのでお尋ねください。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	9	1	0	物都合上、仕方ない事ですが、階段のみのため、教室内はきちんとされていますが、2Fの教室までは階段しかない。 2階にあるでバリアフリーではないが、教室内は段差、邪魔な壁などないと思います。 施設内に入る事が少なく、状況を確認していない。	施設の都合上、2階までは階段のみになってしまいますが、今後も環境整備に努めてまいります。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	1	0	0		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	14	2	0	0	毎月プログラムがあるので様々な運動ができてよいと思います。	運動・創作ともに、年間計画・月間計画を立て、お子様が楽しみながら成長できるプログラムを考えてまいります。ご要望・ご意見も随時受け付けております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	3	#	0	1時間、運動・制作をするために通っているので、交流の必要性は感じません。	必要に応じて検討してまいります。

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	0	0	0	毎回終了後に活動の内容や頑張っている姿をお話くださり、成長を感じています。	引き続きお子様の様子や成長点など、できるだけ詳しくお伝えできるように努めてまいります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	0	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	#	0	コロナ禍なので集まることは難しいと思うが、保護者アンケートなどで（匿名）成長のようすやできるようになったことなど知る機会があればよい。	保護者会の実施予定は現在ありませんが、ご希望の際は児童発達支援管理責任者にご相談ください。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	7	0	0	苦情を申し伝えた事がないので、わかりません。まだ、わかりません。経験がないのでわかりません。	ご意見・申し入れがあった場合には即日職員全員で改善策を話し合い、結果をお伝えいたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	6	2	0	月ごとに活動した様子のおたよりや、次の月の活動予定などが分かるとよい。	創作クラスの活動内容や次の月の活動予定などは教室の入り口に掲示しているほか、見学スペースに年間計画を掲示しております。ご要望を頂いた場合にはプリントでもお渡ししておりますのでお申し付けください。
14 個人情報に十分注意しているか	14	2	0	0			

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1	1	0	最初の面談で説明して下されました。	マニュアルはスタッフ全員で周知しております。随時閲覧可能ですので、職員にお声かけください。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1	0	0		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2	0	0	身体を動かすのは苦手と思っていたのですが、TAKUMIなら自信をもって運動できるようで、毎回楽しみにしています。	今後も子どもたちが楽しく通所しながら成長できるように今後も職員一丸となって励んでまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0	できなかったことができるようになる事はもちろんですが、個性を尊重して興味をもったことをやらせてくれたり、学習しにくい社会性も丁寧に声をかけて下さるのでとても満足しています。	スタッフ一同、適切な療育内容を提供できるよう、また自己を過信する事なく常により良いものを提供できるよう考えてまいります。